

TexTra PowerPoint Addin

TexTra PowerPoint Addinは
PowerPoint上での翻訳を行うアドインです。



インストール

(以下、PowerPointはPPと記述する。)

・インストール

Setup.exeを実行してください。

インストール後、デスクトップに

「TexTra PP Addin登録」というショートカットが作成されるので、実行してください。

PPの上部メニューに

「TexTra」リボンがメニューに追加されます。



※リボンの表示設定は

PP右上の「リボンの表示オプション」で変更できます。



※インストール後のTexTra PP Addin起動時に

「構成システムを初期化できませんでした。」というエラーが発生する場合、

下記のフォルダ内の「TexTra PowerPoint Addin」という文字を含むフォルダを削除してください。

C:\Users\%(ユーザー名)\AppData\Local\Microsoft_Corporation

・アンインストール

Windowsのコントロールパネル>プログラムと機能 から

TexTra PP Addinのアンインストールを行ってください。

[プログラムのアンインストールまたは変更](#)

プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択します。

整理 ▼	
名前	発行元
TexTra PowerPoint Addin	TexTra PowerPoint Addin
TexTra PowerPoint Addin	NICT

2つとも
アンインストール

みんなの自動翻訳

TexTra PP AddinはWebサイト「みんなの自動翻訳」と連携して機能を実現します。
API設定画面では連携するためのパラメータを入力します。

<https://mt-auto-minhon-mlt.ucr.ign-x.jp/>

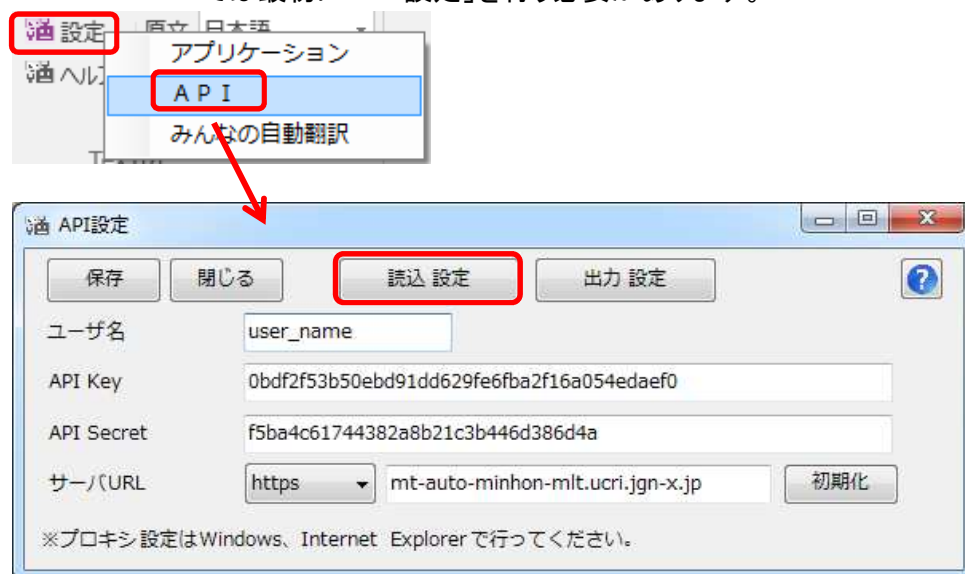
「みんなの自動翻訳」はブラウザ上で翻訳を行うためのWebサイトです。
このサイトの翻訳を補助する機能・データを
TexTra PP Addinから呼び出して利用します。
(以降、サイト「みんなの自動翻訳」を「Webサイト」と呼びます。)

「メニュー＞設定＞みんなの自動翻訳」を押すと、
ブラウザでWebサイトが開きます。



API設定

Webサイトと連携を行うために、
TexTra PP Addinでは最初に「API設定」を行う必要があります。



「読込 設定」ボタンを押して、
本アプリをダウンロードした際に、
zipファイルに同梱されている「setup.ini」を指定してください。
API設定が自動で行われます。

「setup.ini」の内容を
手動で本画面に貼り付ける方法でも結構です。

※ この画面で入力するサーバURLは
「翻訳設定」の項で説明される
「機械翻訳APIのURL」ではありません。

Webサイト「みんなの自動翻訳」からも設定は取得可能です。
ログイン後、メニュー＞ツール＞WebAPIを選択します。



Web API一覧からいずれかのURLボタンを押します。



表示された画面から「APIKey」「API Secret」をコピーして
TexTra PP AddinのAPI設定画面に貼り付けます。

リクエストURL	<code>https://mt-auto-minhon-mlt.ucri.jgn-x.jp/api/list/term/</code>
API key	<code>0bdf2f53550ebd91dd699fe6fba2f16a054b</code>
API secret	<code>f5ba4c64744384a8b21b3b446b3</code>

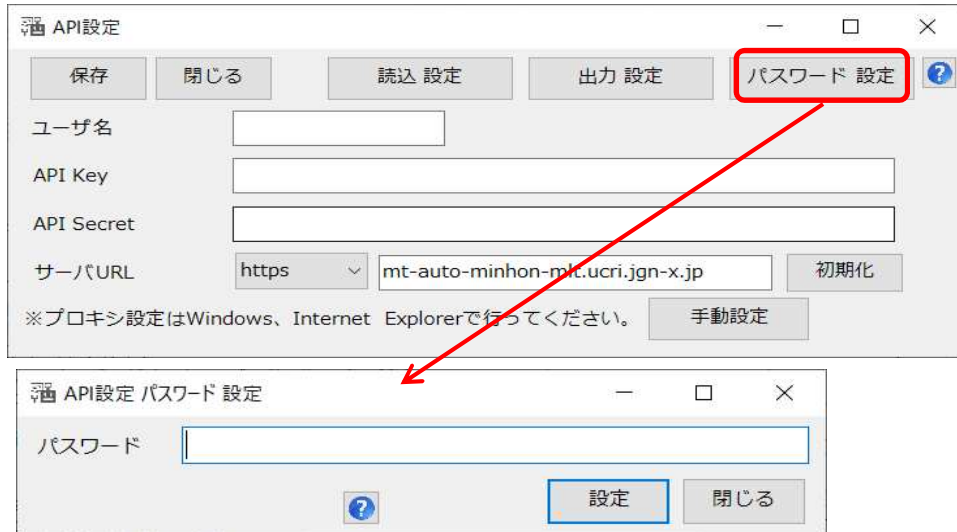
ユーザ名にはWebサイトログイン時のユーザIDを入力してください。

- ① APIサーバの設定です。
通常、変更する必要はありません。
URLを変更する場合は、
プロトコル(http、https)の設定も行ってください。

※ 必要である場合、
プロキシサーバ管理者に下記情報をお知らせください。
ユーザーエージェント => 「TexTra PowerPoint NICT」

- ・ パスワード設定(管理者向け)
API設定画面を開くための
パスワードを設定します。

API設定を管理者側で行い、
アプリユーザに設定を見せたくない、という場合に、
本機能を利用してください。



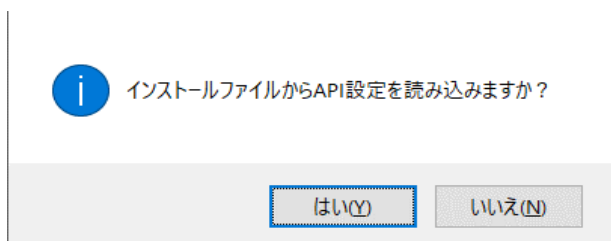
パスワード入力画面でリセットボタンを押すと、
パスワードとAPI設定が消去されます。

- ・ 自動設定読み込み(管理者向け)
API設定を未設定時に
API設定を自動で行う機能です。
(API設定画面パスワードも設定されます。)

インストーラー、または、手動で
インストールフォルダ(本プラグインのvstoファイルがあるフォルダ)に
「api.ini」という名前の設定ファイルを配置してください。

設定ファイルは
API設定画面でAPI設定を入力した後、
「出力 設定」ボタンで出力してください。
(設定ファイル内のパラメータは暗号化されます。)

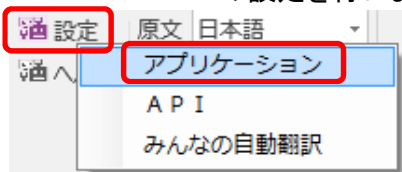
API画面を開いた際、
ファイルから設定を読み込むかどうか、
メッセージが表示されます。



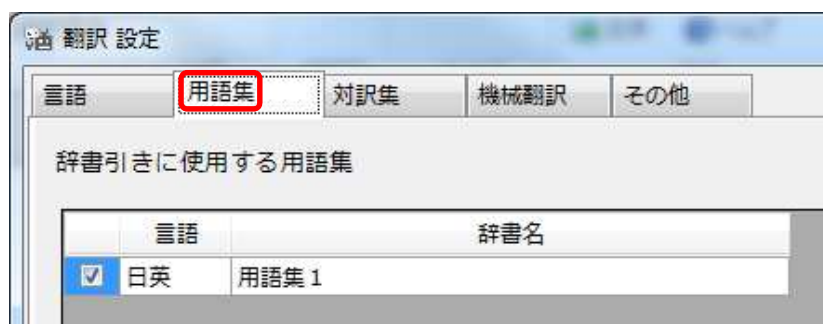
このメッセージを表示させたい場合は、
API設定を消去してください。

翻訳設定

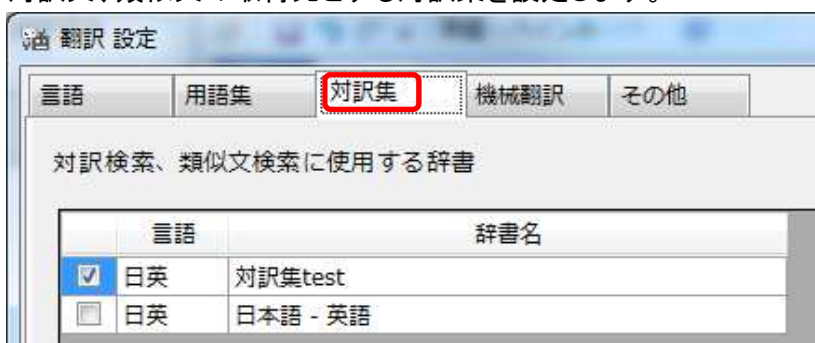
TexTra PP Addinの設定を行います。



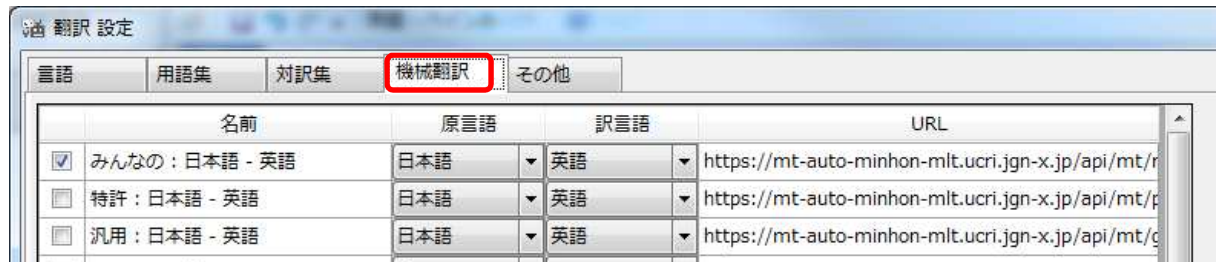
- ・用語集設定
翻訳中に使用する用語集の設定を行います。
用語集は辞書引きなどで利用します。



- ・対訳集設定
対訳文、類似文の取得元とする対訳集を設定します。



- ・ 翻訳API設定
機械翻訳を行わせる翻訳APIを設定します。



この画面の一覧の機械翻訳設定は
Webサイトで表示されるものです。
(この画面で入力するURLは
「API設定」の項の「サーバURL」とは異なるものです。)



翻訳に使用する機械翻訳APIを追加する場合は
この設定画面の一覧の最下列に追加することができます。



- ・ その他の設定



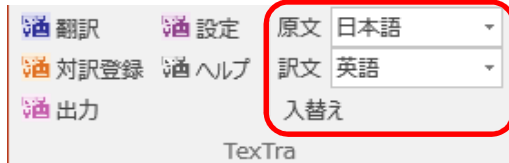
- ① 設定バックアップ・復元
TexTraの様々な設定をTSVファイルに出力します。

PP終了時に自動で設定の保存を行っています。
保存場所はTexTra PP Addinのインストールフォルダです。
C:\Users\%(Windowsログイン名)\AppData\Roaming\NICT\TexTra PowerPoint Addin\backup_settings\

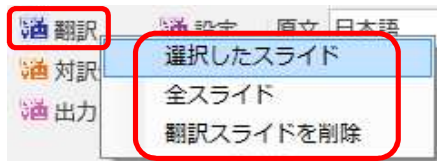
翻訳

PP上のテキストを翻訳します。

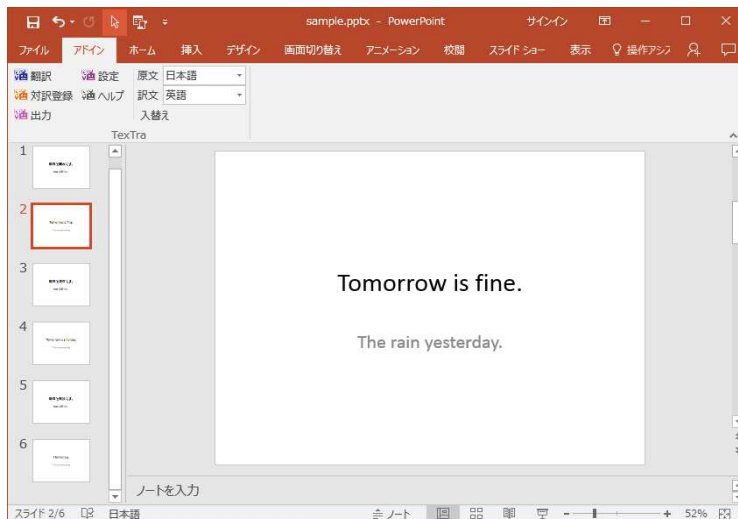
言語を選択して、翻訳ボタンを押します。



翻訳対象を選択します。



PPの原文スライドの後ろに新しいスライドが追加され、翻訳が出力されます。
(設定により、翻訳文でスライド上のテキストを上書きすることもできます。)



この機能で出力した翻訳は
後述の「対訳登録」「翻訳出力」機能で
対訳文として利用します。

下記の設定により、
原文のスライド上に
翻訳文を上書きすることができます。



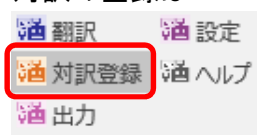
対訳 登録

翻訳済みのデータなどを対訳として登録しておく、
以後の翻訳作業に類似文として役立てることができます。

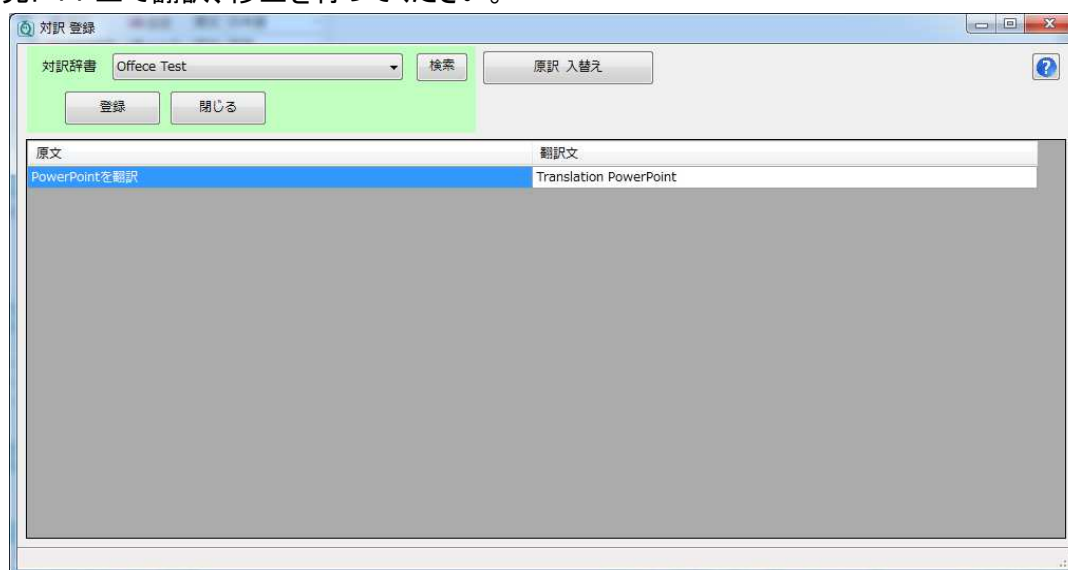
- 対訳集の追加
対訳データの追加先となる対訳集の作成は
「みんなの自動翻訳」サイト上で行います。



- 対訳の登録
対訳の登録はTexTra PP Addinで行います。

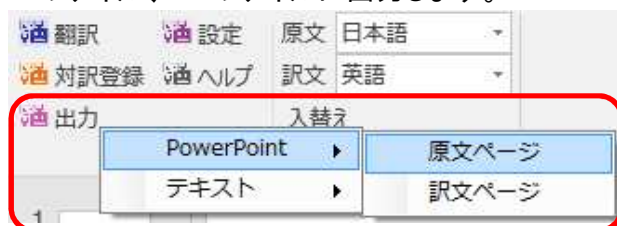


対訳文はPP上の翻訳文を出力したスライドから取得します。
先にPP上で翻訳、修正を行ってください。



翻訳出力

「翻訳」機能の出力結果を
PPファイル、TSVファイルに出力します。



TSV出力

PowerPointを翻訳→	Translation PowerPoint↓
----------------	-------------------------